OneDo-Share

利用マニュアル

操作編（管理者ユーザ詳細）[ストレージサービスDrive]

このたびは本サービスをご利用いただきまして誠にありがとうございます。

本マニュアルでは、ストレージサービスDriveに関する操作を説明いたします。

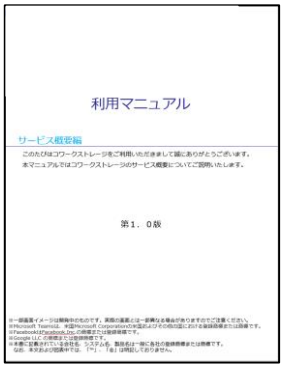
第６．０版

※一部画面イメージは開発中のものです。実際の画面とは一部異なる場合がありますのでご注意ください。

※本書に記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。
なお、本文および図表中では、「™」、「®」は明記しておりません。

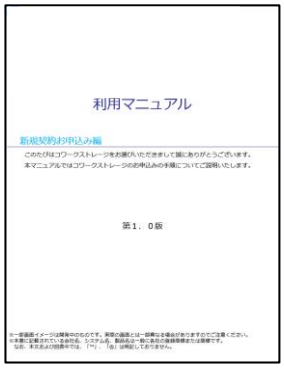
利用マニュアルについて

①：サービス概要



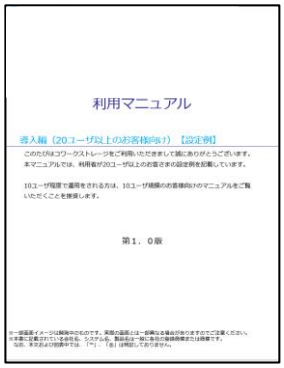
本サービスの
サービスの概要や特長を説明

②：新規契約お申込み編



本サービスの
新規お申込み方法を説明

③：導入編【設定例】

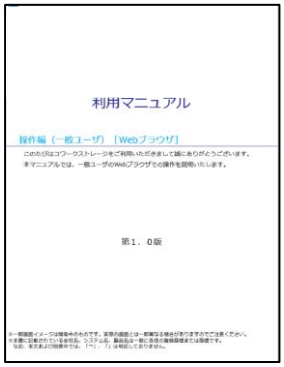


本サービスの初期設定を設定例
から説明

④：操作編
（管理者ユーザ詳細）

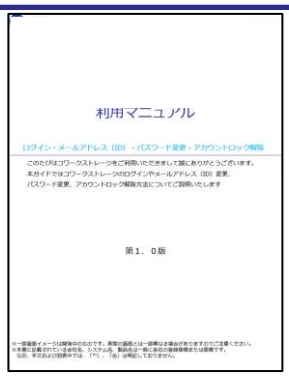
管理者権限を持つ利用者様向け
の操作説明

⑤：操作編
（一般ユーザ詳細）



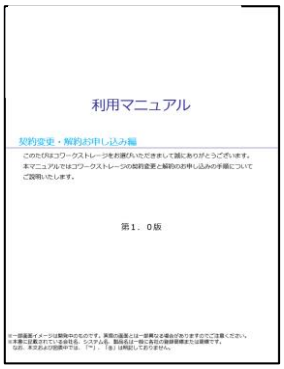
ユーザ向けの操作説明

⑥：ログイン・メールアドレス、パスワード変更、アカウントロック解除編



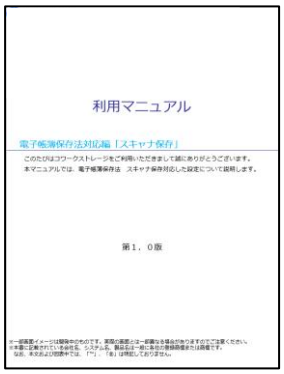
本サービスへのログイン、メール
アドレス・パスワード変更、
アカウントロック解除の操作説
明

⑦：契約変更･解約申込編



ご契約情報確認方法や
変更について説明

⑧：電子帳簿保存法対応編



電子帳簿保存法に対応するため
の設定・操作方法を説明

改版履歴

版	年月	改訂内容	改訂箇所
1.0版	2021年4月	初版作成	
4.1版	2022年6月	プロファイルの設定項目について更新しました。	1-1
6.0版	2022年11月	「利用マニュアルについて」に「⑧：電子帳簿保存法対応編」を追記しました。	-

目次

１．ストレージサービスDrive ・・・・・・・・・・・・・・ 4
１．インストーラ、プロファイルとアップデート ・・・・・・・・・・・・・・ 4
２．セキュリティ対策との関係 ・・・・・・・・・・・・・・11

1 ストレージサービスDrive

ストレージサービスDriveのダウンロードについて説明します。

1．インストーラ、プロファイルとアップデート

ストレージサービスDriveインストーラーのダウンロード

1．**【ツール】** – **【管理コンソール】**から**【アプリケーション】**をクリックします。

2．**【ドライブ】** - **【インストーラー】**をクリックし、
【配布パッケージ】からご利用OSのビット数に合うパッケージを選択し、
【ダウンロード】をクリックします。

ここに注意

ストレージサービスDriveのアップデートに伴い、表示されるインストーラー（バージョン番号）は変更されます。

現在配布しているバージョンより前のバージョンがインストールされている場合、
ご利用ユーザのパソコンにアップデートを促す通知が3時間おきに表示されます。

現在配布しているバージョンより新しいバージョンをインストールした場合、
ご利用ユーザのパソコンに通知は表示されません。

3．ダウンロード先を選択し、「保存」ボタンをクリックします。

1．インストーラ、プロファイルとアップデート

プロファイルのダウンロード

1．【**ツール**】 – 【**管理コンソール**】から【**アプリケーション**】をクリックします。

2．【**ドライブ**】 - 【**プロファイルの設定**】をクリックし、【**ダウンロード**】をクリックします。

3．ダウンロード先を選択し、「保存」ボタンをクリックします。

1．インストーラ、プロファイルとアップデート

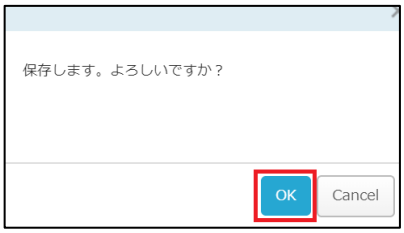
プロファイルのカスタマイズ（プロファイルをカスタマイズしたいお客様のみ実施）

1．**【ツール】** － **【管理コンソール】**から**【アプリケーション】**をクリックします。

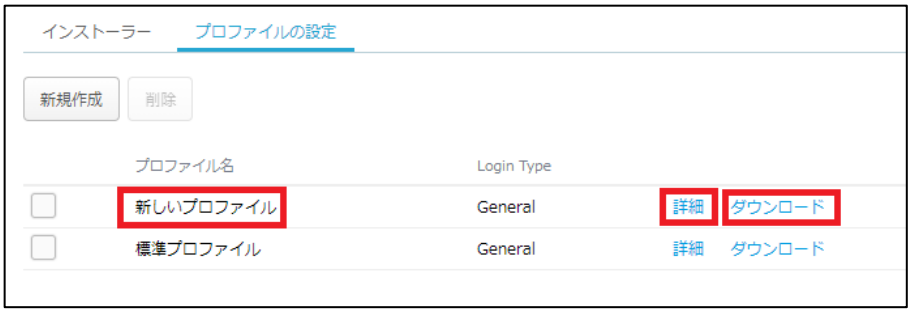
2．**【プロファイルの設定】**をクリックし、「新規作成」ボタンをクリックします。

3．必要な項目に入力し、「保存」ボタンをクリックします。
※各設定項目については、次ページを参照ください。

4．「OK」ボタンをクリックします。



5．作成したプロファイルが保存されます。
【詳細】をクリックすると、設定内容の確認ができます。
【ダウンロード】をクリックすると、プロファイルをダウンロードできます。



1．インストーラ、プロファイルとアップデート

プロファイル設定項目：

プロファイル名		プロファイル名を入力
キャッシュパス	システム既定	C:¥Users¥USERNAME¥AppData¥Local¥CoWork Storage Drive¥Cache ※AppDataフォルダは隠しフォルダですので、隠しフォルダを非表示にしている場合は表示するようPCの設定を変更してください。
	カスタム設定	任意の保存先を入力　(例. C:¥Cache)
	ユーザによる変更を許可する	オン：ユーザによるキャッシュパスの変更可 オフ：ユーザによるキャッシュパスの変更不可
キャッシュサイズ	システム既定	30GB
	カスタム設定	任意のキャッシュサイズを入力
	ユーザによる変更を許可する	オン：ユーザによるキャッシュサイズの変更可 オフ：ユーザによるキャッシュサイズの変更不可
ドライブ文字	システム既定	Zドライブ
	カスタム設定	D－Z内で任意のドライブ文字を選択
	ユーザによる変更を許可する	オン：ユーザによるドライブ文字の変更可 オフ：ユーザによるドライブ文字の変更不可
プロキシサーバー	プロキシサーバーを使用する	オン：下記設定で接続 オフ：直接接続
	アドレス	プロキシサーバーのアドレスの入力
	ユーザによる変更を許可する	オン：ユーザによるアドレスの変更可 オン：ユーザによるアドレスの変更可
	ユーザ名	プロキシサーバーのユーザ名の入力
	パスワード	プロキシサーバーのパスワードの入力
ダウンロード許可		ダウンロードを許可する：プロファイルのダウンロードを許可する ダウンロードを許可しない：プロファイルのダウンロードを許可しない

1．インストーラ、プロファイルとアップデート

ストレージサービスDrive配布中バージョンの確認

1．**【ツール】** - **【管理コンソール】** - **【アプリケーション】** - **【ドライブ】**をクリックします。バージョンが確認できます。

【最新のバージョン(アップデート)の配布を自動的に開始する】
デフォルトではチェックがオンになっています。
最新のアップデートが配信されると自動的に利用者に最新版を提供し、
ストレージサービスDriveを最新の状態でご利用いただけます。

【配布中】
現在ご利用環境で配布されているバージョンとなります。

【配布開始】
クリックすると、選択したバージョンをご利用環境で配布します。
”最新バージョン（アップデート）の配布を自動的に開始する”のチェックを外し、
「保存」をクリックすると「配布開始」のメニューが表示されます

ここに注意

”最新バージョン（アップデート）の配布を自動的に開始する”のチェックを外し、「保存」をクリックすると「配布開始」のメニューが表示されます。

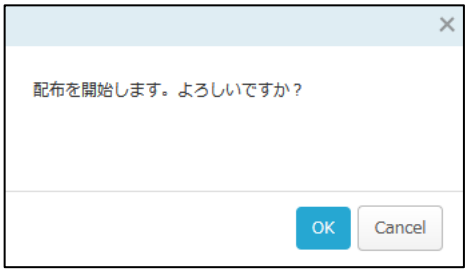
1．インストーラ、プロファイルとアップデート

ストレージサービスDriveのアップデートのコントロール

1．**【ツール】** - **【管理コンソール】** - **【アプリケーション】**をクリックします。

2．配布したいバージョン横の「配布開始」ボタンをクリックします。

3．「OK」ボタンをクリックします。



4．配布中のバージョンが変更されます。

ここに注意

設定が反映され、配布中としたバージョンがユーザに配布される(ストレージサービスDriveのアイコンを右クリックし【最新版をチェック】で表示されるバージョン)までに、最長1分程時間がかかる場合がございます。

1．インストーラ、プロファイルとアップデート

5．画面上部の「編集を終了する」ボタンをクリックし、右上の×ボタンをクリックし画面を閉じます。

ここに注意

最新のアップデートの配布を開始してから180日以内に新しいバージョンへアップデートする必要があります。

現在配布しているバージョンより前のバージョンをインストールした場合、ご利用ユーザのPCにアップデートを促す通知が3時間おきに表示されます。

現在配布しているバージョンより新しいバージョンをインストールした場合、ご利用ユーザのPCに通知は表示されません。

2．セキュリティ対策との関係

ストレージサービスDriveインストール後、利用する前に行っていただきたいセキュリティ対策の設定などをご案内いたします。

参考

本サービスにアップロードされたファイルは随時ウイルスチェックが行われています。

セキュリティ対策ソフトウェアのスキャン除外設定

セキュリティ対策ソフトウェアの検知機能により、ストレージサービスDriveが制御され正しく動作しない場合や、ご利用のPCの動作に影響を及ぼす可能性があります。

そのため、ストレージサービスDriveのご利用前に、ご利用のセキュリティ対策ソフトウェアにて**ドライブマウントしたドライブ**ならびに**下記スキャン除外対象フォルダ**を、ウイルススキャンの対象外となるよう設定をお願いいたします。

スキャン除外対象フォルダ

- C:¥Program Files¥Fileforce Drive
- C:¥ProgramData¥Fileforce Drive
- C:¥Users¥%user%¥AppData¥Local¥Storage Service Drive

各除外設定の方法については、ご利用のセキュリティ対策ソフトウェアのメーカーより提供されております情報をご確認ください。

ここに注意

ProgramDataフォルダ、AppDataフォルダは隠しフォルダですので、隠しフォルダを非表示にしている場合は表示するようPCの設定を変更してください。

ここに注意

{USERNAME}はPCにログインしているユーザ名です。
例えば、sample でPCにログインしている場合、除外対象フォルダは下記となります。

- C:¥Users¥sample¥AppData¥Local¥Storage Service Drive

2．セキュリティ対策との関係

セキュリティ対策ソフトウェアの挙動監視除外設定

セキュリティ対策ソフトウェアの挙動監視機能により、ストレージサービスDriveが正しく動作しない可能性があります。

そのため、ストレージサービスDriveご利用前に、ご利用のセキュリティ対策ソフトウェアにて下記ファイルの挙動監視除外設定をお願いいたします。

挙動監視除外対象ファイル

- C:¥Program Files¥Fileforce Drive¥Fileforce.Drive.Service.exe
- C:¥Program Files¥Fileforce Drive¥Fileforce.Drive.UI.exe

各除外設定の方法については、ご利用のセキュリティ対策ソフトウェアのメーカーより提供されております情報をご確認ください。

2．セキュリティ対策との関係

ストレージサービスDriveと他社ソフトウェアの利用による影響について

ストレージサービスDriveとのご利用により、ストレージサービスDriveやパソコンの挙動に影響を及ぼす可能性のあるソフトウェアがあります。

- 資産管理ソフトウェア
- エンドポイント系ソフトウェア
- 情報漏えい対策DLP系ソフトウェア

上記ソフトウェアをご利用されており、かつストレージサービスDriveやPCの挙動に影響が出た場合は、各製品のメーカーのサポートへ連絡し、そのメーカーの指示に従ってパソコンに何らかの処置を実施いただく可能性がございます。

ここに注意

上記ソフトウェアをご利用の場合でも、ご利用ソフトウェアのバージョンによりストレージサービスDriveやパソコンへの影響の有無は変わります。

また、上記ソフトウェアご利用時に必ずストレージサービスDriveやPCへ影響がでるわけではありません。

上記ソフトウェアをご利用の場合には、トライアル時にストレージサービスDriveやパソコンの挙動についてご確認ください。

2．セキュリティ対策との関係

Windows Update最新ビルドへの対応について

Microsoft社より配信されますWindows Updateに対し、ストレージサービスDriveの迅速な動作検証等を行いますが、配信されるビルドにより弊社内での検証に時間を要す場合がございます。